



ミュージアム・レター

Gakushuin University
Museum of History

Museum Letter No.6

発行日 ● 平成20年(2008)3月15日

もくじ

- ごあいさつ1
- 男爵を知るなら「明治を創った人々 from男爵物語」展へ1
- 御裳捧持者と御下賜時計2
- 「さよならピラミッド校舎&ウルトラセブン上映会」レポート3
- 平成19年度新収史料よりご紹介4
- 催し物のお知らせ4

学習院大学史料館 第28回特別展 「明治を創った人々 from男爵物語」

会期：平成20年4月7日(月)～6月7日(土)
開室時間：平日12:00～17:00 土曜日10:00～12:00
*日曜日・祝日・5月15日(木)は閉室
特別開室日：4月13日(日)10:00～16:00 5月24日(土)10:00～14:00
会場：学習院大学史料館展示室(北2号館1階)
入場無料
協力：(社)昭和会館

1. ごあいさつ

学習院大学史料館では、平成20年(2008)4月7日(月)から6月7日(土)まで、第28回特別展「明治を創った人々 from男爵物語」を開催いたします。本展覧会は、明治国家の建設に大きな役割を果たした男爵にスポットを当てたもので、日本の近代史を考えるひとつの試みとなっております。

本号では、この特別展に関連する記事、およびピラミッド校舎見学会のレポートを掲載いたしました。本レターを通じて、当館の展示や活動を身近に感じていただければ幸いです。

(館長 神田龍身)

2. 男爵を知るなら 「明治を創った人々 from男爵物語」展へ

高潔なイメージの「男爵」、私たちにお馴染みの「男爵いも」など、「男爵」という言葉を耳にされたことがある方は多いと思います。しかし、「男爵とは？」と改めて問われると、なかなか明快に答えることができないのではないのでしょうか。

明治17年(1884)7月、五爵位(公爵・侯爵・伯爵・子爵・男爵)の制定により、男爵という華族階級が生まれました。男爵たちはいくつもの団体を創立し、貴族院議員として国政へ参加、帝国議会で指導的役割を担い、昭和22年(1947)に華族制度が廃止となるまで、500家の男爵はその責務を果たしました。

現在、男爵の団体として活動するのが社団法人昭和会館です。昭和会館の伝統文化委員会は男爵の歴史と文化を次世代に伝える活動を行っています。学習院大学史料館は同委員会からのご支援を受け、4年の歳月をかけて、『昭和会館80周年記念 男爵物語』(全3冊・平成19年9月)を刊行しました。そして、この度その成果を特別展「明治を創った人々 from男爵物語」として公開いたします。

この展示を通して、男爵と日本の近代史について理解を深めていただくと同時に、明治を創った人々の熱いメッセージを感じていただければ幸いです。

*「男爵いも」の名前は、男爵川田龍吉が海外から導入したじゃがいもに由来します。

(野尻泰弘)



▲「男爵物語」の購入を希望される方は学習院大学史料館事務室にお問合せください。頒布価格1セット16,800円